

村岡新駅周辺地区における自家用車の利用抑制に向けた取組方針

1 基本的な考え方

村岡・深沢土地地区画整理事業の村岡地区では、「藤沢市都市交通計画」及び「村岡・深沢地区総合交通戦略」に基づき、新駅を核とした、極力自家用車利用に依存しない持続可能な交通環境を構築し、自家用車を利用しなくても不自由なく生活できる環境整備を目指しています。

実現に向けては、MaaS (Mobility as a Service) の活用をはじめとする先進的なモビリティ施策と連携した自家用車から公共交通、シェアモビリティへの転換や自家用車の利用につながる駐車場設置の抑制を図ります。

なお、村岡地区、深沢地区の一体的なまちづくりに向けては、総合的な交通環境の構築が重要であり、今後、さらに連携を深めていきます。

2 主な取組

① 公共交通の利用促進及び地域モビリティの導入検討

村岡新駅の開業に合わせて、路線バス等の公共交通の維持、強化及び利便性向上に向け、駅前交通広場を拠点としたバス網の再編や新駅とのスムーズな乗り換え環境（シームレスな動線計画）を整えます。

合わせて、官民連携一体施設整備等事業と連携したシェアモビリティの利用促進や MaaS 等も活用した地域モビリティの導入を検討します。

② 共同住宅の自動車駐車場設置の抑制

自家用車の保有抑制やカーシェアリングへの転換を進めるため、新駅徒歩圏となる土地地区画整理事業地内の共同住宅について、自動車駐車場の設置台数の抑制を行い、従来の一律的な駐車場設置義務の見直しを行います。

また、設置台数抑制と合わせて、敷地内へのカーシェアリング用スペースやシェアモビリティポート等の設置に必要な空間の確保を求めます。

③ 研究施設及び商業施設等における就業者用の自動車駐車場設置の抑制

新たな駅前に設置される施設として、就業者の通勤や社内利用における自動車保有の抑制に向け、利用実態等に応じた設置台数の見直しを協議します。

3 期待される効果

- ・ MaaS とカーシェア、公共交通の融合、また新たな駅前まちづくりにより、自家用車を所有しない、自家用車に依存しない新たな鉄道利用型ライフスタイルが実現します。
- ・ 自家用車起因の混雑緩和と CO2 削減により、新駅開業に伴う周辺道路への過度な交通集中を防ぎ、脱炭素まちづくりに貢献します。
- ・ まちの魅力向上に向け、駐車場建設のコストや空間の削減分を質の高い緑地、共用空間への還元や、「荷さばきスペース」、「送迎用の車寄せ」の設置に活用することで、道路環境への負担を軽減し、歩行者優先で回遊性の高い駅前空間が実現されます。